

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	訪問介護事業所さかい幸朋苑		
サービス種別	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
所在地	境港市誠道町2083番地		
担当者	稲田 英子	連絡先	0859－45－6830
運営法人	社会福祉法人こうほうえん		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年9月5日（木）14:00～14:40	場所	介護老人福祉施設さかい幸朋苑 特養会議室
----	------------------------	----	----------------------

3. 出席者

氏 名	分 野	備考（所属・従事経験など）
浅川 健二様	利用者又は利用者の家族	
中本 勝 様	地域住民の代表者	自治連合会副会長
柏木 香寿子様	当該サービスに知見を有する者	民生児童委員協議会会長
服岡 泰司様	当該サービスに知見を有する者	境港医師協会会長
川口 昭一 様	当該サービスに知見を有する者	ことぶきクラブ連合会会長
野浪 一仁様	市の職員又は地域包括支援センターの職員	境港市地域包括支援センターグループ長
濱田 壮	当該サービスに知見を有する者	さかい幸朋苑総合施設長
矢倉 美紀子	当該サービスに知見を有する者	訪問看護ステーション さかい幸朋苑管理者
稲田 英子	事業所職員	訪問介護事業所さかい幸朋苑管理者
坂本 玲子	事業所職員	訪問介護事業所さかい幸朋苑副主任

4. 活動状況報告

別紙のとおり 開催当日配布済

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

●総合施設長より挨拶:

さかいエリアの年齢階層別認定者数は90歳以上が最も多い、90歳以上の在宅生活を送っている軽度の認定者が増加。在宅サービスでは、入浴を中心としたサービスを持続できるよう。介護難民が発生しない様な取り組み、在宅生活の限界点を支えるサービスで、必要とされるサービスを目指す。

●中本様より:

ヒヤリハット報告、ストーブ関係の事案について、ヒヤリで終わって良かった。今後このようなことが無い様に十分に注意してほしい。

●川口様より:

服薬確認、昼薬のセット忘れについて、大事な薬ではないのか？

浅川様より:

●6回/日服薬が必要。薬を飲み忘れると身体が動きが悪くなる。家族が忘れていても、ヘルパーが声掛けしてくれる。利用者、家族とヘルパー間でのコミュニケーションがとれていたらよい関係性が保たれる。

服岡先生より:

●定期巡回は、特別な事業で介護度1～5、現利用者が6名程なのは何か制限があるのか？

包括野浪グループ長より:

●電子記録について業務効率は上がっているのか？ご家族とスマホで連携可能。モニタリングをオンラインで可能と国が示している。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

●ついうっかりとミスを起こさない様に、厳重に注意する。

●服薬介助については、重要な業務であり、慎重且つ細心の注意を払い業務にあたる。介助の際は指差呼称で対応する。通所では名字が同じ人がある、顔写真や間違えない工夫が必要、誤薬は大きなリスクとなるので重く捉える。

●定期巡回の契約に関しては、ケアマネの判断が大きい。介護度によって訪問回数の制限を設けている。支援内容、毎日の訪問の必要性などで利用を検討する。

●訪問記録は訪問直後からタブレットに入力、時間があれば移動時間を使って記録を残す。事務所に戻らなくても次の訪問者に記録を共有可能。ヘルパー間や他事業所で連携が取りやすい。今後は、ご家族様と連絡ノート形式でスマホに情報を送る様に準備したいと思います。

7. 地域からの情報提供

●特にありません

8. その他特記事項

- この度より境港医師協会会長 荒木医院、服岡泰司先生に出席頂いております。
- 次回開催は、令和7年 2～3月頃を予定。
- 次回開催時、R6年度、事業所の自己評価の意見もお願いしたいと思います。事前に評価表をお送りさせていただきますのでご協力の程宜しくお願い致します。

① 登録者

R6.9.4

現在ご利用者 : 6名

訪問看護利用者 : 2名 (内、1名は医療保険)

新規利用者 : R6年3月 2名 (介護1・介護4)

4月 1名 (介護1) 短期間(20日間)利用

6月 2名 (介護1・介護3) 介護3の方はケアハウス

8月 1名 (介護1) 月途中、訪問介護から移行

9月 1名 (介護1) 9/1～開始

② 介護度

平均介護度は 2.5

③ 生活状況

独居4名 高齢夫婦1名 家族同居1名

④ 入院、終了者

- ・4月…短期間利用のみ。
- ・6月…3月新規、要介護1 訪問回数減の希望を受け、訪問介護へ移行。
- ・8月…要介護4 家族(夫)の介護負担増、疲労、体調悪化により夫が入院。
本人はショートステイ⇒サ高住入居

⑤ オペレーター対応について

- ・日中は基本、勤務職員 (介護福祉士)
- 夜間帯については、職員がオペレーターを自宅にて対応。
- 昨年より深夜帯の通報0件、待機者の出動はなし。
- ・排泄介助訪問 R5.10～1年間 17件 (早朝0件、日中13件、夜間4件、深夜0件)
- 要介護4 独居の方からの通報。
- ・転倒・体調不良の通報 … 2件
- ・その他の通報28件 訪問時間の変更、中止、諸連絡の為の通報。

※その他

◎要介護4 (女性 独居) 8年目

- ・1日5～6回訪問、随時訪問も含め、月150回前後の訪問。自宅での生活を強く希望。
- ・オペレーターへ排泄介助希望の通報、ヘルパー対応困難時は訪問看護に依頼。
緊急訪問は減少。
- ・1回の訪問時間は40分～1時間以上要している時もある。排泄時の移乗介助について、介護負担増大、介助方法を検討中。

◎要介護 5 (女性 家族同居) 2年半利用

- ・1日3回訪問、ヘルパーは排泄介助のみを対応している。
- ・医療保険で訪問看護、訪問リハ(他法人)対応されている。

★ひやりハット報告について 事業所全体★ (R6年3月～R6年8月)

※ 0レベル報告 なし

ご意見 1件

- ① 洗濯物干し支援の際、ズボンの干し方が違うと電話を頂く。ズボンはピンチハンガーで干す旨聞いていたが、支援の際うっかりと忘れてしまい通常のハンガーで干してしまう。確認リストを作成し、支援終了時チェックする。

薬関連 2件

- ② 朝薬の服薬確認、昼薬のセット忘れ。
退出する前に、支援忘れがないか確認する。訪問記録の実施項目のチェック欄を入力(確認)して退出する。
- ③ 服薬介助の際、お盆ごと薬の入った器を床に落としてしまう。床を探すか2錠のうち1錠は見つからず服薬できなかった。

その他 3件

- ④ 買い物支援、現金を入れるポーチに50円硬貨が残った状態であった。訪問した2日後に気が付き返却する。(3月)8月にも同様の報告、1円が残っていた。
- ⑤ ストープがついているのに気づかず、ストーブの上に配食弁当を袋ごと置いてしまい、袋が溶けて中の弁当箱の底が焼ける。

★時間制限のある業務の中で、ついうっかりして発生したケースばかりです。訪問先では間違いを起こさない様に努めています。今のところ大きなクレームに繋がったケースはなくご理解して頂いています。

日頃からご利用者やご家族とのコミュニケーションを大切にして、関係性を保つことが重要と感じています。6～7月は報告事項なし。

★事業所の現状、取り組み★

※本年5月より職員1名減 10名（内非正規職員もあり、常勤換算8.4人）

全員介護福祉士の資格を取得しています。

介護技術、接遇、コミュニケーション能力の向上に力を入れ、ご利用者に安心して介護が受けていただけるよう、職員一人一人が努力しています。毎月の事業所内勉強会では研修以外にも、ご利用者のケア内容についての意見を出し合い常に検討しています。

※車両事故0件を目標に安全運転の取り組みを継続しています。

令和3年10月20日より、朝ミーティング時に

【交通安全・無事故・無違反 ○○日目】 声を掛け合い始業開始しています。

9/4 現在事故発生なし。2年と319日目

※地域への情報発信として大きな取り組みはありませんが、研修生受け入れ時に研修生に対し事業所の現状、サービス内容等説明しご利用者への同行訪問を行っています。

複数回の訪問が必要な方には、定期巡回のご案内、提案をさせていただき、安心して在宅生活が送れるよう支援しています。

※介護記録について、現在タブレット内での電子記録です。こうほうえんのサービス間では、他事業所の記録も共有でき、連携が取りやすく便利になりました。

また、訪問時の状況をご家族に、スマホへ送信して確認して頂く方法を現在準備中です。